

市町村議会議員特別セミナー

(1月16日～17日)

1月16日・17日の2日間にわたり、令和元年度第2回「市町村議会議員特別セミナー」を開催しました。

今回のセミナーでは、自治体経営の課題、まちづくり・地域づくり、子育て、防災をテーマに取り上げ、それぞれの分野の第一線においてご活躍されている講師の皆様にご講演いただきました。

初日は、「スーパー公務員のチャレンジ」と題して、立正大学客員教授の高野誠鮮先生から、元羽咋市役所の職員として、羽咋市への宇宙科学博物館の誘致や限界集落の立て直しなどの活躍によりスーパー公務員とよばれ、テレビドラマの原案ともなった経緯などについてご講演いただきました。ご自身の経験を紹介されながら、義務的に働くのではなく、地域のために結果を



高野 誠鮮先生

出す公務員像とは何かといった内容でした。参加者からは、「理論だけでなく実践の話で失敗を成功までもっていく執念や努力に感服した」、「行政マンの多くに聞かせたい内容であった」、「議員も良いアイデアは積極的に支援しなければならないと思いました」などの感想をいただきました。



中村 智彦先生

続いて「企業とともに発展する行政」と題して、神戸国際大学経済学部教授の中村智彦先生から、地域活性化について、中央主導にまかせず、地方による主体的な地方創生を行い、経済循環をいかに改善するかということについて、山形県川西町の事例を中心にご講演いただきました。参加者からは、「稼げる自治体への変革が必要であると気付きました」、「小さな町をここまですばらしい場所にしたことに感動しました」などの感想をいただきました。

2日目は、「子どもの声がする地方づくり」と題して、関西大学人間健康学部長・教授の山縣文治先生から、子育てを身近で見る経験をする機会の減少や多様な生き方の尊重による子育て以外の生活の重視など、現在の子育て施策をめぐる環境の難しさ、こうしたことを社会でどのように支援していくのかといったことについて、ご講演いただきました。参加者からは、「現実



山縣 文治先生

は深刻であることに改めて気付きました」、「社会の現状と子育て支援のあり方についてどこまで考えてやったらよいか、示唆をいただきました」などの感想をいただきました。



中邨 章先生

最後に「防災と危機管理－地方議会の役割と課題－」と題して、明治大学名誉教授の中邨章先生から、国際的な活躍を背景に、災害時における議会の役割を積極的に果たしていくことなど、地方議会と防災とのかかわりについて、ご講演いただきました。参加者からは、「どこの自治体でも災害対応で苦慮しています。素晴らしい話でした」、「防災について改めて議会のあるべき姿を学べて良かった」、「地域にも自助の重要性を伝えていきたい」などの感想をいただきました。